

事務事業名	公営住宅整備事業		所属部	建設部	所属課	建築住宅課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	建築営繕G	
	施策名	〈09〉都市・住まいづくりと土地利用の推進		担当者名	石原 優奈	
	目的・対象	市内全域	意図	有効かつ効果的に利用・整備する。		
	基本事業	〈027〉居住環境の整備促進		電話番号	0854-40-1065 (内線) 2451	
目的・対象	市内全域	意図	居住環境が向上する。			
予算科目	会計	款	大事業	大事業名	公営住宅建設事業	
	0	1	4	0	0	2
	項	目	中事業	中事業名	公営住宅建設事業	
	2	5	1	5	0	1

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
公営住宅	・住宅供給の促進 ・老朽化した住宅ストックの計画的な更新
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H24 年度 ~ R5 年度)	「雲南市公営住宅等長寿命化計画」に基づく、公営住宅の建設と建替え事業。 ・事業期間: H24~R5年度(長寿命化計画期間第1期) ・建設計画戸数: 12戸(三日市団地3棟12戸) ・建替計画戸数: 20戸(三刀屋第2団地5棟20戸)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
三刀屋第2団地B棟建設	現状把握に基づき住宅ストック活用手法を定め、老朽化した公営住宅ストックの円滑な更新を図り良好な住宅ストック形成を目指すため、「雲南市公営住宅等長寿命化計画(H30)」を策定。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 公営住宅建設進捗率	%	-	-	-	-
イ 公営住宅建替進捗率	%	40.0	60.0	80.0	100.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
○三刀屋第2団地B棟建設 ・建設工事…131,588千円 ・委託費…2,101千円 ・負担金…273千円 ・事務費…909千円 合計…134,871千円	財源内訳	国庫支出金	千円	43,458	50,295	61,456	45,409
県支出金		千円					
地方債		千円	73,800	77,900	0	170,900	
その他		千円					
一般財源		千円	8,842	1,681	73,415	1,081	
	事業費計	千円	126,100	129,876	134,871	217,390	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	耐用年数を経過した老朽化の著しい公営住宅の削減を図るとともに、公営住宅を効率的な供給を図ることができている。
② 事業実施するうえでの課題	公営住宅の整備基準に基づいて整備を行い、利便性・快適性の向上を図った。 工法等の検討を行い、適正なコストによる事業費で対応した。 社交金を財源充当することで、一般財源の支出抑制に努めた。(事業費の4割)
③ 課題解決に向けた改革改善等	H29年度に基町団地の移転の実施設計を行い、H30年度より三刀屋第2団地4戸1棟を年度毎に建設を進めている。今後、中村・東谷団地、西の宮・三峠団地についても、長寿命化計画に沿って、計画的に整備を進める。 今後、建設に雲南市産木材の利用が求められるが、コスト面や品質の点を考慮した上で、安定的な供給がなければ、構造材としての利用は難しいと考える。